

(11) 保存活用の具体化に向けて

景観整備機構(公財)名古屋まちづくり公社 景観整備アドバイザー 野田展葛

身近な歴史的建造物の保存と活用

身近な歴史的建造物は、活用を続けなければ保存していくことが困難です。また、保存活用に関する行政の助成などに多くは期待できません。このような身近な歴史的建造物の保存活用を推進するためには、一般市民・建築等の専門家・関係団体などが、それぞれの関心・能力を活かすことが出来る保存活用ネットワークの構築や、貸し手・借り手と売り手・買い手を繋ぐ情報提供システムの構築などが求められます。

情報バンク研究会

平成23年6月15日、「歴史的建造物保存活用の仲介情報システムを構築し提言する。」ことを目的として、名古屋市職員、愛知建築士会まちづくり委員会委員、なごや歴まちびと及び公社職員とで、情報バンク研究会が作られました。7回の研究会と他都市事例調査を経て平成24年3月21日一応の提言をとりまとめました。会議等の実施状況は下記の通りです。

23.6.15	第1回研究会	メンバー紹介等、他都市事例の研究
23.7.27	第2回研究会	なごや歴まちびと研究員参画、システムイメージの討議
23.8.22	京都市事例調査	京町家情報センター 3名
23.9.27	金沢市事例調査	金沢市市役所 4名
23.10.26	第3回研究会	他都市事例調査報告
23.11.18	第4回研究会	企業ヒアリング、システムイメージの討議
23.12.21	第5回研究会	LLP(有限責任事業組合)、システムイメージの討議
24.2.15	第6回研究会	提言(案)の討議
24.3.21	第7回研究会	提言の決定

また、提言の要旨は下記の通りです。

(1) 情報ネットワークの構築

「なごや歴まちネット」上に「保存活用情報バンク(仮称)」を公開する。管理運営主体は景観整備機構(財)名古屋都市整備公社が、物件調査等については愛知建築士会等の関係団体に協力要請することが望ましい。

(2) 関係事業者登録制度

事業者(ユーザー)や工事施工業・設計・店舗企画・コンサルタント事業者などを募集・登録して「なごや歴まちネット」上に公開する関係事業者登録制度を設けることが望ましい。

(3) 推進組織の設立

当面、(1)・(2)の情報公開のみで歴史的建造物の保存活用が格段に進展する状況は想定できない。このため、当分の間、活用物件の掘り起こしや店舗経営者探しなどを行う組織を設けることが必要と思われる。「なごや歴まちプロジェクト研究会(仮称)」を作ることを提言する。この組織は、景観整備アドバイザー、なごや歴まちびと、工事施工業者、コンサルタントなどで構成するのが望ましい。

(4) なごや歴まちびとの積極的参画

なごや歴まちびとは、「なごや歴まちびと派遣制度」による派遣のほか、専門的知識を生かし様々な分野での活躍が期待される。保存活用情報バンクや関係事業者登録制度となごや歴まちびととの連携がスムーズにおこなえるようなシステムを考える必要がある。

(5) 「なごや歴まちプロジェクト」ネットワークの構築

既存のネットワークに(1)～(4)を組み込み、さらに充実した「なごや歴まちプロジェクト」ネットワークを構築していく。

なごや歴まちプロジェクト研究会

平成24年8月、情報バンク研究会の提言を受けて、愛知建築士会の会員や「なごや歴まちびと」などが集まりなごや歴まちプロジェクト研究会が設立されました。研究会は、公社の委託を受けて、歴史的建造物の保存活用の具体化に向けて、下表の保存活用事例調査、セミナー、歴史的界隈実態調査などを実施してきました。

平成24年度	<ul style="list-style-type: none">・他都市事例調査 榑原市今井町・福井県大野市・歴史的建造物保存活用セミナー 10月27日(土) 那古野コミュニティセンター・庭木剪定ワークショップ 12月16日(日) 名古屋市中区の住宅
平成25年度	<ul style="list-style-type: none">・歴史的建造物保存活用セミナー 10月27日(日) 新名古屋センター・歴史的界隈学生参画調査プロジェクト 荒子町・笠寺町歴史的界隈 概要説明 11月30日(土) 現地調査 12月1日(日) 取りまとめ・発表会 12月8日(日)
平成26年度	<ul style="list-style-type: none">・歴史的建造物保存活用セミナー 11月23日(日) 枇杷島スポーツセンター
平成27年度	<ul style="list-style-type: none">・歴史的界隈実態調査 橋町歴史的界隈 実態調査 28年1月17日(日) 報告書とりまとめ 1月31日(日)・歴史的建造物保存活用セミナー 12月12日(日) グループホームなも・他都市事例調査 亀山市関宿・滋賀県豊郷町
平成28年度	<ul style="list-style-type: none">・他都市事例調査 長野県塩尻市・歴史的建造物保存活用セミナー 平成29年2月12日(日) 足助「寿々屋再生プロジェクト」等

保存活用の具体化に向けて

名古屋における身近な歴史的建造物の保存活用を推進するために、名古屋市と市景観条例の改正による地域建造物資産の登録・認定、なごや歴まちびとによる助言・指導など、なごや歴まちプロジェクトは、公民一体となって進められてきました。おおむね10年に亘り進められてきたこのプロジェクトを顧みると、次のような課題があると思われます。

- ①歴史的建造物の貸し手・借り手と売り手・買い手を繋ぐ情報提供システムが必要である。
- ②歴史的建造物を賃貸し保存活用しようとするオーナーがなかなか見つからない。
- ③歴史的建造物を賃借するための信用ある団体が必要である。

今までに多くの都市の事例が調査されて来ましたが、これらの課題を解決するために参考となる、多くの事例が見つかりました。それは、いわゆる情報バンクシステムの構築や上記のような課題を解決するための団体の設立です。他都市における活動団体は、地域の特性や解決すべき課題により、NPO法人、一般社団法人、有限責任事業組合など様々です。名古屋における歴史的建造物の保存活用を具体化していくために、他都市の事例も参考にしてこのような課題の解決を目指すことが期待されます。